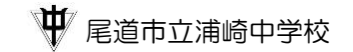


学校教育目標	「未来を生きる力を育む」	＜育む資質・能力＞ 基礎的基本的な知識・技能 × 「主体性」「協働性」「創造性」
--------	--------------	--

a ミッション	令和7年度に期待したいこと（スクールミッション）/尾道市教育委員会 地域力を生かし「オール尾道」で取り組む 主体的に学ぶ力の育成	a ビジョン	本校に通うすべての生徒が、自分の人生をしあわせに、そして希望をもって歩んでいけるよう、「未来を生きる力」を育む教育を目指す。
---------	---	--------	--



評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
学んだ知識をもとに「生き方」まで学び育む学校	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	<p>■多様な学びの選択肢のある授業 生徒一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度などに応じて、選択肢のある教材の柔軟な提供や、個別の支援により基礎的・基本的な知識技能の確実な定着を図る。</p> <p>■学ぶ意欲の向上と知識・技能の定着 「まなびチャレンジ」「まなびタイム」「朝読書」試験期間中は、各教科の目標達成に向けて、自分なりの計画と方法で学びを進める時間を設定する。また、毎日のショートホームルームの前後に「読書タイム」と「まなびタイム」を帯時間で設定し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。</p> <p>■自立した学び手の育成「マイプラン学習」 各教科の一部の単元において、自ら学習計画を立て、多様な学習材やICTの活用などによる学習方法により、自ら調整を図りながら学びを進める力を育成する。</p>	<p>□全国学力学習状況調査・標準学力調査（学校独自の調査を含む）において、正答率が全国平均正答率を上回った生徒の割合</p> <p>□生徒質問紙「マイプラン学習では、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合</p>	50%以上										
					<p>■協働的な学習の時間「まなびクエスト」の充実 郷土「浦崎」の生活と自然から、海外交流校との国際協働学習を通して、本物の社会に当事者として向き合う学びの充実を図る。 ・1年生「海の森プロジェクト」 ・2年生「生き方と働き方」「世界のとびらをひらく」 ・3年生「アートマイルプロジェクト」「人生の扉をひらく」</p> <p>■生徒による自治活動の充実 生徒会活動や「ええじゃん・SANSAGAり」「浦崎大運動会」「中学校音楽コンクール」などの行事は、生徒が主体となって成功をめざし、多くの生徒とともに感動を味わいながら企画・運営を実践的に学ぶ場とする。</p> <p>■特別授業「まなびスペシャル」の充実 各界の著名な講師との出会いで社会を意識し、自らの生き方を見つめる学びの充実を図る。 ・ゲストティーチャー 大阪交響楽団（文化芸術） 元卓球日本代表銀メダリスト（スポーツ） 第28代高校生平和大使（世界平和）</p>	<p>□生徒アンケート「『まなびクエスト』の時間では、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合</p> <p>□生徒アンケート「浦崎中学校は、何事にも一生懸命に取り組むことができる学校だと思う」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合 *生徒が掲げた「めざす学校像」と関連する問い</p> <p>□生徒アンケート「特別授業では、自分自身を見つめたり、これからの自分自身の在り方や生き方を考えたりすることができましたか。」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合</p>	80%以上							
	信頼される学校づくり	<p>子 子ともを主語にし、時間た組織風土の醸成</p>	<p>■「学校が楽しい」と実感できる学校づくり 生徒が「自分らしくいられる」「挑戦できる」「つながりを感じられる」学びの場を、生徒とともに創り上げる。</p>	<p>□生徒アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに肯定的な回答をした生徒の割合</p>	100%									
			<p>■秩序と活力のある教職員風土の醸成 生徒の健やかな成長と学びを支えるため、基本理念に基づいた秩序ある組織運営と、互いの専門性を尊重しながら意欲的に取り組む教職員風土づくりを推進する。</p>	<p>□教職員アンケート「私は、学校教育目標の達成に向けた取組に参画している」の問いに肯定的に回答をした教職員の割合</p>	90%以上									
			<p>■業務改善・働き方改革の推進 教職員のワークライフバランスの実現と、より豊かな教育活動の推進の両立を図ることを目指す。 ・業務の精選と見直し ・業務分担の適正化とチームでの支援体制 ・教職員の意識改革</p>	<p>□時間外勤務が4.5時間以下（月）である教職員の割合</p>	70%以上									

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
B：80≦（ほぼ達成）<100
C：60≦（もう少し）<80

D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。